

令和7年度 愛知県立農業大学校が実施する新規就農希望者向け研修について

2025. 5. 28版

項目	ニューファーマーズ研修	農業者育成支援研修	農業技術研修 (愛知県雇用セーフティネット対策訓練農業技術研修科)
目的	Uターン就農者(農家出身)・新規参入者(非農家出身)を対象に、農業経営に必要な基礎的知識・技術などの修得を図る。	主に農業以外の分野から新規就農を希望する方を対象に、就農に必要な栽培に関する基礎的な技術、知識の修得を図る。	離職者を対象に、農業法人等への就職や新たに農業を始めるために必要な農業の基礎的な知識・技術の修得を図る。
募集機関	農業大学校	農業大学校	三河高等技術専門校 R7.4.1「岡崎高等技術専門校」から改称
受講資格	○愛知県内で農業経営(農業所得概ね250万円以上)を目指す方で、 (1) 18歳以上概ね55歳未満の方(令和7年4月1日現在)。 (2) ほ場実習の研修先を確保できる方。	○新規就農を希望し、就農意欲の高い方。 (農地を所有しているか、借地の目途がある者が好ましい。) ○普通自動車免許(オートマチック限定可)を有する方。 ○心身ともに健康で、畑等での農作業等の実習が可能なる方。	○公共職業安定所長が適職に就くために訓練受講の必要性を認め、所長から受講指示又は受講推薦等を受けることのできる方。 ・雇用保険適用者…受講指示 ・雇用保険対象外…受講推薦又は求職者支援指示 ○普通自動車運転免許(オートマチック限定可)を有する方。 ○心身ともに健康で、畑等での農作業等の訓練が可能なる方。 ◆早期就職、就農(訓練終了後3か月以内)を希望しない方は、原則、受講できない。
募集期間 申込窓口	令和7年2月13日(木)から令和7年3月14日(金)まで 最寄りの県農林水産事務所 農業改良普及課	令和7年4月10日(木)から令和8年5月8日(木)まで 農業大学校 企画研修部 担い手研修科	令和7年3月6日(木)から令和7年3月26日(水)まで 最寄りの公共職業安定所
説明・見学会 試験選考	説明会: 特になし(随時) 面接: 令和7年4月3日(木)	見学会: 特になし(随時) 面接: 令和7年5月14日(水)	見学会: 【第1回】令和7年3月12日(水) 【第2回】令和7年3月19日(水) 筆記試験・面接: 令和7年4月10日(木)
研修期間	令和7年4月17日(木)～令和8年2月26日(木) [10か月間] (農業大学校で実施する講義等は、毎週、火又は木曜日)	令和7年5月23日(金)～令和8年1月21日(水) [8か月間] (毎週、原則月・水・金曜日 ただし5～9月は火曜日も実施 約100日)	令和7年5月8日(木)～令和8年1月28日(水) [9か月間] (毎週、月曜日から金曜日まで約160日)
定員及び 研修内容	定員 概ね20名⇒R7受講生19名 ○4コース(野菜、果樹、作物、花き)から選択。 ※作物コースは、水稲・麦・大豆を対象	定員 15名⇒R7受講生10名 ○露地野菜の栽培の知識・技術を学ぶ。	定員 30名⇒R7受講生 28名(応募 40名)、R6 27名 ○主に露地野菜の栽培の知識・技術を学ぶ。 ○果樹・作物等の講義も含む。
実習等	実習場所: 自己ほ場(両親等からの技術指導が必須)または 先進農家(研修生で選定) 実習内容: 各コースにおける栽培実習等 (目標履修時間:150日(900時間))	実習場所: 農業大学校 実習内容: 露地野菜中心に栽培実習約100日 ※原則、月・水・金 5～9月は火曜日も実施 【午前】共同実習(全員で慣行法による露地野菜栽培) 【午後】個別実習(個別に任意の品目・栽培法で実習) 農家実習(2日・希望者)、新規就農事例調査(3日)など	実習場所: 農業大学校 実習内容: 露地野菜中心に以下の実習等(120.5日(723時間)) うち、園芸実習(112.8日)、果樹実習(1.0日)、 機械作業実習(2.8日)、校外学習(4.0日)
講義等	学科:30日(180時間) 農業大学校で週1～2日程度実施	学科:15回程度 農業大学校で実施	学科:34.5日(207時間) 農業大学校で実施
修了要件	・目標履修時間を講義等、実習それぞれ8割以上受講 ・就農経営計画書を提出・発表すること ・研修の実施に必要な提出物(研修日誌、講義等での課題等)を提出	・履修時間の8割以上を受講 ・就農経営計画書を提出すること	・訓練時間(実習・学科各々)の8割以上を受講 ・就農経営計画書を作成・発表すること。
想定する 対象者	○Uターン就農者(農家出身) ○専業農家を希望する新規参入者 ○栽培希望品目が決まっている人 ○週1～2回の来校で、知識を学びたい人	○直売所などに出荷をめざす人 ○農業法人への就職をめざす人 ○農地があり、Uターン就農を希望するが、栽培技術を学ぶ対象が身近にいない人 ○自己ほ場で農作業をしながら、実習指導を受けたい人 ※農地所有の有無は問わない。	○直売所などに出荷をめざす人 ○農業法人への就職をめざす人 ※平日昼間は講義があるため、自己ほ場等での農作業はできない。 ※農地所有の有無は問わない。
備考	○就農準備資金の受給対象となり得る研修 ※就農開始日に50歳未満であることが必要	○受講料:10,000円(種苗代・肥料代・農薬代等は別途実費が必要) ○就農準備資金の対象とはならない	○職業訓練としての研修 ○申込みに関する問い合わせは、三河高等技術専門校へ。 ○研修内容に関する問い合わせは、農業大学校へ。